

アクセプトされる論文や国際学会で高評価プレゼンのための 英語論文ワークショップ

2016年 **12月17日** (土) 10:00 ~ 16:00

文教キャンパス サイエンス&テクノラボ2階 セミナー室2

対象：若手研究者・大学院生（後期博士課程、5年一貫専攻）
若手研究者や大学院生の論文作成を指導する教授・准教授等
※文系理系問わず

募集人数：30人程度（定員になり次第受付終了）



事前申込必要
<https://goo.gl/Gkb23o>

参加無料



「ターゲットのジャーナルに、なかなかアクセプトされない」。このような悩みを抱える研究者は少なくありません。本ワークショップは、学術論文の標準的な構成形式であるIMRAD(Introduction, Methods, Results and Discussion)形式の論文について、執筆上の留意点を学んで頂くことを目的としています。自分の研究を正確かつわかりやすく読者（査読者）に伝える力を培うとともに、アクセプトされ、検索され、引用される論文に必須な条件を学びます。また、講師の話を一方向的に聴くのではなく、演習を通じて実際に手と頭を動かし、講師や他の参加者と議論する真の意味でのワークショップです。

【内容】

- 陥りがちな文法や文体の間違いを直す
- 用語と文中での配置の正しい選択
- IMRAD形式の論文とは
- 各セクションで書くべきこと、書いてはいけないこと
- 論文を執筆する際におかしがちな過ちと対処法
- 国際学会でのポスターと口頭プレゼンテーションスキル

- ワークショップは英語で行われますが、日本語での質問が可能です。
- セミナー内容の詳細、会場へのアクセスは、こちらへ：
<http://www.ura.nagasaki-u.ac.jp/>

講師 西川 マリ (エディタージュ専属講師)

日本で長くメディカル・ライターとして活躍。現在はカクタス・コミュニケーションズ株式会社にて、研究者を対象としたセミナー・ワークショップの講師を担当。ライティングのプロとして、明確で分かりやすい論文の執筆に定評がある。米国で高校の講師（化学）、大手製薬会社の研究者に従事した経験があるが、医学・ライフサイエンス分野の専門知識も有する。また、日本人の研究者・医師が誤りやすいクセやミスについても詳しい。日本語は日常会話レベル（日本語検定2級取得）



主催・お問合せ：

長崎大学研究推進戦略本部 TEL：095-819-2208 Email：ura@ml.nagasaki-u.ac.jp